

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会

令和2年度 社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会事業報告

1、法人運営

(1)理事会の開催

計3回の理事会を開催し、下記のとおり審議等を行い法人運営の適正化に努めた。

回数	開催日時・場所	総数/出席者	審議事項
1	令和2年 6月3日(水) 13:30～15:45 場所:川崎町総合福祉センター	理事 10名/10名 監事 2名/2名	(事業の報告) 第1号 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う対応について 第2号 川崎町老人福祉センター施設の一部改修工事について (議案) 第1号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会評議員候補の選出について 第2号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の令和元年度事業報告及び決算の承認について 第3号 令和2年度第1回評議員会の開議決議について (協議事項) 1)令和2年度度共同募金事業の配分団体及び配分金について (報告事項) 1)生活支援コーディネーター採用試験の結果について
2	令和2年 12月10日(木) 14:55～15:45 場所:川崎町総合福祉センター	理事 8名/10名 監事 2名/2名	(事業の報告) 第3号 令和2年度上半期執行状況の監査報告について (議案) 第4号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 第5号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について 第6号 令和2年度第2回評議員会の開議決議について (報告事項) 1)令和2年度共同募金活動の進捗状況について 2)地域包括支援センタープランナーの欠員補充について 3)福祉活動専門員及び老人福祉センター浴場パート職員募集について 4)「ボランティアセンター」に関する他地区社協訪問報告について

3	令和3年 3月16日(火) 13:25~15:15 場所:川崎町総合福祉センター	理事 9名/10名 監事 2名/2名	(協議事項) 1) 川崎町行政区長会からの後任理事候補の選出について (議案) 第7号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の役員等賠償責任保険契約の締結について 第8号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会職員就業規則及び非常勤職員就業規則の一部改正について 第9号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の役員選出規程及び定款の一部改正について 第10号 令和2年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について 第11号 令和3年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業計画について 第12号 令和3年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業予算について 第13号 令和2年度第3回評議委員会の開議決議について (報告事項) 1) 川崎町老人福祉センター浴場の運営状況について 2) 福祉活動専門員採用試験の結果について
---	---	---------------------------	---

(2) 監査の実施

回数	開催日時・場所	監事名	審議事項
1	令和2年 5月20日(水) 13:30~15:30 場所:川崎町総合福祉センター	主任監事 山口 明 監事 萩尾 節子	平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の業務執行の状況及び財産の状況についての監査
2	令和2年 11月12日(火) 13:30~15:00 場所:川崎町総合福祉センター	主任監事 山口 明 監事 萩尾 節子	令和2年4月1日から令和2年9月30日までの業務運営及び会計管理に関する事項についての監査

(3)評議員会の開催

計3回の評議員会を開催し、多くの意見をいただきました。

回数	開催日時・場所	総数/出席者	審議事項
1	令和2年 6月18日(木) 13:30~15:00 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 12名/13名 監事 2名/2名	(議案) 第1号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会令和元年度事業報告及び決算の承認について (報告事項) 1)新型コロナウイルス感染予防に伴う対応について 2)川崎町老人福祉センター施設の一部改修工事について 3)令和2年度共同募金事業の配分団体及び配分金について 4)生活支援コーディネーター採用試験の結果について
2	令和2年 12月18日(金) 13:30~15:05 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 11名/13名 監事 2名/2名	(事業の報告) 令和2年度上半期執行状況の監査報告について (議案) 第2号 令和2年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について (報告事項) 1)令和2年度共同募金活動の進捗状況について 2)地域包括支援センタープランナーの欠員補充について 3)福祉活動専門員及び老人福祉センター浴場パート職員の募集について 4)「ボランティアセンター」に関する他地区社協訪問報告について
3	令和3年 3月24日(水) 13:30~15:00 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 13名/13名 監事 2名/2名	(議案) 第3号 新理事の選任について 第4号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の役員選任規程及び定款の一部改正について 第5号 令和2年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について 第6号 令和3年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業計画について 第7号 令和3年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業予算について (報告事項) 1)川崎町老人福祉センター浴場の運営状況について

		2)福祉活動専門員採用試験の結果について 3)新型コロナウイルス感染症対応マニュアルについて
--	--	---

(4)委員会

①総務委員会

総務委員会は開催されませんでした。

総務委員

令和元年6月19日から令和3年会計年度まで

役職	氏名
委員長	松田 孝行
副委員長	西本 泰博
委員	荒木 辰彦
委員	中島 利男
委員	山下 甚也

②福祉委員会

福祉委員会は開催されませんでした。

福祉委員

令和元年6月19日から令和3年会計年度まで

役職	氏名
委員長	松岡 久代
副委員長	田中 安博
委員	廣畑 美子
委員	梅田 浩一

③全員委員会

全員委員会は2回開催されました。

委員 理事全員

回数	開催日時・場所	総数/出席者	審議事項
第1回	令和2年 8月25日(火) 13:30~15:30 場所:川崎町総合福祉センター	理事 8名/10名 監事 2名/2名	(議事) 1)社協事業部の現状と今後の対策について 2)コロナ禍における共同募金活動について 3)その他
第2回	令和3年 2月26日(金) 14:30~15:30 場所:川崎町総合福祉センター	理事 8名/10名 監事 2名/2名	(議事) 1)川崎町執行部との協議内容について 2)今後の社協の取り組みについて 3)その他

役員・職員研修

	研修内容	開催日時
第1回	消防訓練	令和2年6月30日(火) 9時20分~9時40分 場所:川崎町総合福祉センター
第2回	でてこんかい・かたらん会(まちづくり勉強会) 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和2年7月14日(火) 13時30分~15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第3回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏 川崎分署 職員	令和2年9月8日(火) 13時30分~15時30分 場所:川崎町総合福祉センター

第 4 回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和2年11月17日(火) 13時30分~15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第 5 回	消防訓練	令和2年12月8日(火) 9時20分~9時40分 場所:川崎町総合福祉センター
第 6 回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和3年1月12日(火) 13時30分~15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第 7 回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和3年3月9日(火) 13時30分~15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第 8 回	災害ボランティアセンター初動対応マニュアル検討会(シミュレーション研修) 講師:一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏 川崎町防災管財課職員 2名	令和3年3月26日(金) 12時30分~14時30分 場所:川崎町総合福祉センター

(5)日常生活自立支援事業(権利擁護事業)

昨年から市町村実施方式に伴い、基幹的社協より専門員業務を引継ぎ、本会の支援員により、6名の利用者の日常生活の支援を行いました。また未契約の1名については、令和3年度も引き続き面談や契約手続きを行います。その他、地域包括支援センター等と協力し、認知症高齢者等の相談援助業務を行いました。

(6)社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

新型コロナウイルス感染拡大及び予防のため、ふくしまつりは中止、老人クラブ連合会、民生委員・児童委員協議会、母子寡婦福祉会、身障者福祉会、保護司会、遺族会、ボランティア団体等を対象とした研修会等は、中止及び規模を縮小しての開催となりました。また、川崎町との共催の金婚式は開催しました。喜寿祝賀会は中止となり該当者の方には、民生委員さんにより記念品が届けられました。

(7)社会福祉活動に関する活動への住民参加のための援助

各種団体、組織等との連絡と強化に努め、住民一人ひとりが気軽に参加できる環境作りを援助しました。

(8)社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及宣伝、連絡調整及び助成

ボランティア団体や在宅支援グループ等の指導助成を行いました。また、年4回社協だよりを発行し福祉に関する情報提供を行いました。

(9)保健医療、教育の社会福祉と関連する事業との連絡

共同募金事業により、小学5年生に対して福祉教育冊子を配布し、福祉に関する教育の推進を図りました。

(10)共同募金事業への協力

令和2年度共同募金実施期間の10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金活動を実施しました。この間、街頭募金や理事・職員が訪問しての大口募金、各行政区に協力をお願いしての戸別募金、老人クラブの一円玉募金など多くの方々の協力をいただきながら活動を実施しました。その結果、2,118,964円の募金が集まりました。募金実績の詳細は社協だよりNo.181(1月号)No.182号(4月号)に掲載しています。

(11)共同募金事業

赤い羽根共同募金事業の配分金により、地域福祉の推進に努めました。

福祉・ボランティア団体助成	14団体への活動助成
障がい児バスハイク	新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期及び中止
福祉教育読本配布	「ともにいきる」町内の小学校、支援学校へ配布
米寿の祝い(記念品 手作りマスク・アルコール消毒液)	対象者114名、9月居宅、施設等に訪問して記念品の贈呈
喜寿の祝い(記念品 エコバッグ)	対象者242名、民生委員及び社協職員で個別配付
福祉教育読本配布	町内の保育園(所)への絵本の寄贈

2、川崎町総合福祉センターの運営

社会福祉協議会、居宅・障害・訪問介護の事業所、地域包括支援センターが連携し運営に努めました。新型コロナウイルス感染予防のため条件付きにて会議室貸館業務を行いました。

3、心配ごと相談業務

人権相談員、行政相談員、民生委員相談員の連携により、相談者のさまざまな相談の解決に努めました。令和2年度より隔週月2回の開催となりました。

()は令和元年度

事業内容	内容	開催日数	相談件数	1日平均相談数
心配ごと相談事業	各種相談	24日 (49日)	18件 (12件)	0.75件 (0.24件)

4、老人福祉センターの運営

新型コロナウイルス感染拡大の影響により4月・5月は休館、6月からは条件付きの開館となりました。談話室、カラオケ、健康福祉機器の提供は中止しています。(令和2年度利用状況は別紙参照)

また、昨年3月29日に子育て支援センターの引越が完了し、児童を取り巻く問題の解決に連携して取り組んでまいりました。

5、居宅介護支援事業

介護支援専門員は、居宅介護支援サービス業務を通じて、利用者が自立した日常生活を営むことが出来るように介護保険サービスの他、多くの社会資源を活用し、利用者が安心して生活できるよう取り組んでまいりました。

6、訪問介護・介護予防・日常生活支援総合事業

要支援・要介護状態にある高齢者及び障がい者が自立した日常生活を営むことが出来るように身体介護及び生活援助、ご家族への助言や介護指導を行いました。また、特定事業所体制を維持し、事業の効率化を図りました。

7、障害者総合支援法に基づく、障がい福祉サービス

利用者の意思及び人格を尊重し、障がいの特性を理解し、本人の立場に立った適切な介護に努めました。

8、生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯、身体障害者世帯等の自立、生活安定を図るため、生活福祉資金貸付の相談・申請を受け付けました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により特例貸付の申込が多く(対応件数 600 件超え)対応に追われました。引き続き令和3年度も継続になります。

資金の種類	相談件数	貸付件数	貸付金額
更生資金(生業費)	0 件	0 件	0 円
就学資金	12 件	12 件	5,070,000 円
総合支援資金	0 件	0 件	0 円
緊急小口資金	10 件	7 件	570,000 円
福祉資金	6 件	5 件	1,052,000 円
特例貸付	638 件	320 件	86,280,000 円
その他	1 件	0 件	0 円
合計	667 件	344 件	92,972,000 円

9、相談支援事業の経営

障がい者や障がい児の保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障がい福祉サービス利用支援等必要な支援を行いました。また、虐待の防止及びその発見のための関係機関との連携や調節、障がい者等の権利擁護のために必要な助言を行いました。

10、介護予防支援業務

この事業は、川崎町より平成31年4月から受託した地域包括支援センター業務の必須事業で、川崎社協(事業所)として運営しています。介護保険における予防給付の対象となる要支援者等の状況にあった適切なサービスが、包括的かつ効率的に提供されるよう援助を行いました。(令和2年度請求件数:5,804 件)

11、川崎町包括支援センター業務

この地域包括支援センター業務は川崎町からの受託事業で、地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活安定のための必要な援助を行うことを目的としています。

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、適切なサービスや関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行ってきました。

また、生活支援体制整備事業では、引き続き「でてこんかい・かたらん会」の実施及び勉強会を重ねて取り組んだ「みまもり10ヶ条」の作成、衣・食・住に関する地域資源調査、でてこんかい・かたらん会の小地域版である出前講座等を実施し、地域における「支えあい・助け合い」の取組を進めてきました。

12、その他この法人の目的達成のために必要な事業

「生活困窮」「社会的孤立や孤独」「心身の障がいや不安」など、既存の制度では対応できない制度の狭間にいる方等への支援が今日的な課題となっている中、平成29年度より開始された福岡県社会福祉法人経営者協議会等が実施主体である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、現物給付という緊急時のツールを備えた生活困窮者等に対する相談・支援事業として取り組みました。